

令和2年4月30日

発 言 者	発 言 要 旨
阿部委員	酒田港における水際対策の状況はどうか。
空港港湾課長	<p>中国沿岸部の浙江省の滞在等が上陸拒否の対象となった2月中旬から、入港・着岸する外航船舶の外国人船員の上陸に備え水際対策を行っている。</p> <p>水際対策の内容としては、船員に対して乗船時からの手洗いや、上陸の際のマスク着用、アルコール消毒、非接触型の検温計による検温をお願いしているほか、行き先や滞在時間の把握、三密を避けた行動を要請している。</p> <p>水際対策の対象は、コンテナ貨物を運搬するコンテナ船とペレットやスクラップなどを運搬する一般貨物船がある。</p> <p>水際対策を始めた2月中旬からの実績は、コンテナ船が24隻、一般貨物船が8隻という状況である。これまで延べ57名が上陸しているが、3月17日以降、上陸拒否の対象国が増加したこともあり、上陸する船員はほとんどいない状況である。</p>
阿部委員	補正予算案の内容は詰め所の設置とのことだが、現在の状況はどうか。
空港港湾課長	<p>酒田港では五つの埠頭があり、外周を取り囲む柵が設置してあるが、その出入口で県職員を中心に対応している。</p> <p>出入口付近に守衛室があり、テロ対策の一環として通常時から出入り管理をしているが、五つの埠頭のうち、二つの埠頭に設置してある守衛室は、広さが4畳ほどと狭いため、今回の補正予算で2埠頭分の詰め所の設置について要求したものである。</p>
阿部委員	どのようなものを設置するのか。
空港港湾課長	一般的に工事現場に設置されているようなプレハブを予定している。
阿部委員	終息が見通せない中で、水際対策の今後の実施想定期間はどれくらいか。
空港港湾課長	緊急事態宣言の状況や、県全体の体制も見ながら決めていきたい。
木村委員	県境での啓発・検温活動について、25日から本格実施されたが、停車台数、チラシ受取り台数、検温台数のそれぞれについて、県内・県外ナンバーの内訳は把握しているのか。
高速道路整備推進室長	県外ナンバーだからといって県外在住者とは限らないこともあり、把握していない。
木村委員	<p>検温については抵抗感を持つ方もいると思う。検温に協力してくれた方、特に県外の方に対しては、また山形県を訪れたいと思っていただけるよう接してほしい。</p> <p>県内・県外のデータは取っていないということだが、そういうデータを取り、例えば協力してくれた方にお礼の品を配ることも一つの案として検討してみてもどうか。</p>

発 言 者	発 言 要 旨
高速道路整備 推進室長	<p>道の駅米沢については、駐車後、施設へ移動する間の啓発・検温活動となるため、車のナンバーを控えるのは困難である。</p> <p>また、県外から来た方へのお礼については、お礼の品物を入手するために、かえって来県者が増えることも考えられるため、その点も考慮しなければならないと考える。</p>
木村委員	<p>協力者に不快な思いをさせない一つの案として配慮してほしい。</p> <p>試行期間における実施状況を踏まえた課題等はどうか。</p>
高速道路整備 推進室長	<p>一つは、協力者に不快な思いをさせないような対応を強く心掛ける必要がある。</p> <p>また、試行時に若干誘導で戸惑う面があったため、今回の本格実施に当たっては、矢印板を増設するなどスムーズな対応となるよう改善を図っている。</p>
伊藤委員	<p>緊急事態宣言が仮に延長された場合、県民ゴルフ場の休業期間はどのように考えているか。また、県民ゴルフ場の指定管理者からの納付金については、どのような取扱いとなるのか。</p>
総務企画課長	<p>現在の営業自粛については、県の自粛要請に応じて実施していることから、今後の国の動向や県の要請内容を踏まえて対応していきたい。</p> <p>また、指定管理者からの納付金については、利用者数も減っている状況にあることから、今後の動向も踏まえつつ、指定管理者と協議しながら適切に対応していきたい。</p>
伊藤委員	<p>景気対策としての県土整備部所管工事の早期発注に係る考えはどうか。</p>
企画主幹	<p>昨年度の状況としては、県では県土整備部を含む上半期の目標を、政府の補正予算を活用した事業で80%、これを除く公共事業等で60%に定め、その効果が迅速かつ十分に発揮できるよう、早期執行に積極的に取り組み、県土整備部の実績としては、政府の補正予算を活用した事業が80.6%、これを除く公共事業で63.2%と目標を達成した。</p> <p>建設業に係る公共事業は幅広い業種に関係しており、地域経済を下支えする面でも、大変重要であると考えている。発注機関である総合支庁と連携して、更なる早期執行に取り組んでいく。</p>
伊藤委員	<p>今年度の目標のパーセンテージはまだ示していないのか。</p>
企画主幹	<p>昨年度の上半期契約率の目標値については、平成31年4月25日に企画振興部からの通知で示されたところである。今年度においても、みらい企画創造部から示されると思われるため、その目標値を達成すべく、積極的に早期執行に取り組んでいく。</p>
野川委員	<p>県境での啓発・検温活動では、嫌がらせのようなことはないか。</p>
高速道路整備 推進室長	<p>そのような事例は把握していない。</p>

発 言 者	発 言 要 旨
野川委員 高速道路整備 推進室長	<p>啓発・検温活動を行う職員は、県土整備部の職員が多く割り当てられているのか。</p> <p>県土整備部に限らず、全庁的に取り組んでいる。</p>
野川委員	<p>賃料に対する補償が、学生への対応と並んで、今後の景気対策の中心的なものになると考えられる。県土整備部か産業労働部か、県の所管を整理する必要があると考えるがどうか。</p>
建築住宅課長	<p>産業労働部と改めて調整を図っていきたい。国においてどのような制度になるのか、どの省庁が対応するのかを含め検討していく。</p>
高橋（淳）委員	<p>5月の連休中、特に寒河江SAは混み合うと思う。啓発・検温活動では天候を含め体調管理に十分留意してほしい。</p>